

なにくち ころ
谷口 康さん（米子市出身）

2018年度3次隊 青年海外協力隊

派遣国：ブラジル 職種：野球

2020年11月29日（日）中国新聞 SELECT 掲載



※中国新聞社の許諾を得ています

仲間を得て野球教える

青年海外協力隊としてブラジルのマツグロツソ州カセレス市に赴任し、野球を教えた。役割は、①青年チームの指導および選手として大会への参加②少年チームの技術面・規律面の指導である。活動をより良くするために取り組んだこと、それは「仲間を得る」だった。

海外では特に、見方をつくり周りの信頼を得なければ活動はうまくいかない。私は野球隊員。試合に出て活躍すれば周りに評価され、信頼を得ることができると考えた。



野球の指導を受ける子ども

1年目の活動では、監督兼選手としてとにかく試合に出場した。投手、捕手とフル回転でチームの一員として試合に出場し、州大会の年間チャンピオンに輝くことができた。

私の本職は捕手であり、捕手にとって大切なのがコミュニケーション力である。ポルトガル語を一生懸命学び、練習、試合中はもちろん、プライベートでも積極的に選手と交流した。この結果、互いに本音で言い合える関係になり、活動を円滑に取り組めるようになった。

子どもたちへの指導では「子どもを信じて練習に付き合う」ことをモットーとした。最初はボールをキャッチできなかった女の子。根気強く練習に打ち込んだ彼女は、今ではキャッチボールができるまでに成長した。保護者から「先生うちの子、野球が好きだと言っていたよ」と聞いたときはうれしかった。

国境を超えてできた仲間との絆は一生の財産である。私は語学力を生かし、日本とブラジルに架けた橋を太くできる人間になりたいと思う。